

あんどくりすの防災四季だより

第3回 放送日：2019.4.19（金）

パーソナリティ：あんどくりす

テーマ：カバンの軽い持ち方・応用編



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。



防災に役立つ工夫を、習慣にしませんか？

「こんな物が応用できる」。と、
毎日の暮らしの中に取り入れておけば、

イザというときにも、慌てずに実行できそうです。



米は肩に担ぐべし!?



前は、カバンの軽い持ち方をお話しました。

“重たい物は上に” “揺らさない” “面で支える”
それらが重要という事です。

この話をした講演後に、
「私はこんな風なことをしてみました」と、
報告して下さる方がいらっしゃいました。



「買い物に行ったときに米を買った。米がとても重かった。

カバンを持っていなかったが、
なぜか風呂敷みたいな物(ショールだったのかも)を持っていた。

りすさんの話を思い出した。

米を肩に背負って、その上からショールをかけて縛ってみた。
米ってこんなに軽く持てるんだ！

昔の人が千両箱などを肩に担いでいたのは、
すごく合理的だったんだなと分かった。」と。

教えていただいて、確かに！ と思いました。

その方は、「本当に軽くなったと、心はウキウキしていた。が、
どうもその姿で歩いていると、周りの人が振り返る!?

考えてみたら
昔のアニメに出てくるドロボーの格好と同じだった！」とも。(笑)



おしゃれなバッグも揺らさない



揺らさない、重心を上にも上げるという事。

日頃から
カバンは上部に持ち、
揺らさないようにしていただきたいんです。



そうは言っても、
いつもリュックを持っている人ばかりではありませんよね？

おしゃれなバッグでも大丈夫。
そのバッグを、
着ている服の内側に入れてしまうだけです。

それだけで、バッグは揺れないようになります。

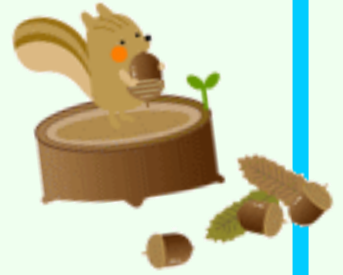
前出の方のように、首に巻くというのはアレですけど(笑)

ショールなどで包み、斜め掛けで体に密着するように縛る。

こんな工夫をしていただくだけで、
揺れなくなります。



転ばぬ先のガムテープ



玄関にガムテープを置くことをお勧めします。

アウトドアでよく使われているテープがあります。
ダクトテープとかパワーテープと言われる物です。

とても強い上に、手で簡単にちぎれるテープです。

NASAで使われているという事で、うたい文句は
<宇宙船のドアが外れても取り付けられる>

本当にそうかどうかは、私は分からないんですが。(笑)

車のフロントガラスが割れた(※1)、
そういった時に使って取り付けられる。

カヌーをしていて、船底が岩に当たって割れた緊急時、
それを貼ってそのまま進める。

というような、防水機能もある丈夫なテープです。
簡単に手でちぎれるし、しかも安いんです。

NASAのテープと聞くと、高価なように思われますが、
ホームセンターで400円ほどで売られています。

NASAのナノの字も書かれていませんよ。(笑)
なので、パワーテープやダクトテープという名前で探して下さい。

その置き場は、玄関です。いざという時に、
いつものカバンだと揺れちゃうな、
動きにくいと思ったら、ガムテープで体に止めちゃう。

災害時にも素早く逃げられます。

揺らさない、重心を上にも！
という事を知っていればできる「応用」ですね。



これで赤ちゃんも楽々!?



揺らさない、重心を上を上げるといふ事ができれば、赤ちゃんの抱っこやおんぶも、とても軽くなります。

いつもの抱っこ紐で良いのですが、底の部分に、先週ご紹介した小学生の「ランドセル上げ底作戦」を応用します。

タオルや布を畳んで抱っこ紐の底に置き、その上に赤ちゃんを座らせる。

ちょっとでも上を上げるといふ工夫です。

走ると緩む、赤ちゃんが揺れるといふ場合は、やはり重くなっています。

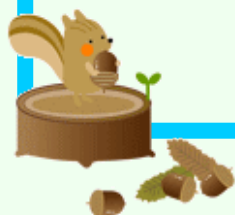
おんぶや抱っこで避難する時だけでも、ショールやマフラー、そういった布で、

赤ちゃんの上からリボンをかけるようにもう一回巻いて縛る。

しっかり密着させて揺れないようすれば、逃げやすくなります。

仕組みを知っていることで、皆さんの普段使っている物でも、災害時に応用を効かせることができるのです。

ぜひ
普段の生活に取り入れていただければ良いなと思っています。



アウトドアのリュックをマイバッグに

毎日のカバンがおしゃれなバッグだという方には、
こういうアイデアもあります。



レジ袋の代わりに便利な、折り畳みができる
アウトドアの小さいリュックがあるんです。
(※2:アタックザック・サブザック)

いつもの買い物に行ったときに、
「大根がデカイからこのリュックの中に入れて持ち帰ろう」と、
レジ袋代わりに使っていただけるリュックです。

本来は頂上を極める時に使われ、
さささと身軽に行って帰れるように、けっこう軽いんです。

そのようなリュックをレジ袋代わりに持っていていただくと、
買い物時にも軽く持て、便利に役立ちます。

いざという時には、
そのおしゃれなカバンをリュックの中に入れて避難できます。

電信柱が倒れてきた！ 火事が迫ってきた！ etc.....。

避難するときには、
素早く逃げなければいけないさまざまな状況があります。

それに対応していただければと思っています。





次回は、

春の風や服の着方など、「風」に関する話題をお伝えします。
また来週もお楽しみに。

※1

昭和60(1985)年の法改正により、
フロントガラスには「合わせガラス」を使うことが
義務づけられた

※2

重い荷物はベースとなる地点に置き、
頂上を目指すときに使われる。

必要最低限のアイテムだけを詰めるので、
軽く丈夫で携帯便利に作られている。

(TEXT/ はしも)

